




行政視察内容報告書

平成 30 年 3 月 25 日

土佐清水市議会議長
仲田 強 様

会派名 同志会
氏名 岡崎宣男 

下記のとおり報告します

| | |
|---|---|
| 項目 | <input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情関係 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加 |
| 参加者 | 日本共産党 前田 晃 |
| | 同志会 小川 豊治 岡崎 宣男 計 3 人 |
| 期日 | 平成 30 年 2 月 19 日 (月) ～同 21 日の間 |
| <p>概要 (年月日・場所・内容)</p> <p>1 期日 2 月 20 日 (火) 10 時から 16 時 30 分の間</p> <p>2 場所 東京都中央区京橋 1-7-1 (TKP 東京都八重洲カンファレンスセンター)</p> <p>3 講師 日本公共経営研究所代表 (元寝屋川市議会議長) 宮本 正一 先生</p> <p>4 研修項目 ①「キラリと光る質問原稿の書き方」 ②「政策提案質問の事例」</p> <p>5 研修内容</p> <p>(1) 講師宮本先生は平成 7 年 27 期で大阪府寝屋川市市議に初当選し、5 期 20 年の在任中議長を務めた。先生は大阪府知事橋本徹氏の選対事務局長をはじめ、国会議員・市長選等の選対事務局を務めた経歴をもっている。選挙のプロと感ずるものの非常に気さくで分かり易く講義が進められた。</p> | |

- ① 「キラリと光る質問原稿の書き方」については、別添資料に項目ごとに記載されていますが私が大きく感じたのは
- A 質問の項目は市町村全般の行財政・法定受託事務を問わず市町村が処理する一切の事項に亘る。
 - B 質問作成については各情報を集めて法的根拠などを精査し作成した方がより厚みのある質問と成ります（特に総務省・厚労省等々質問に関連する役所にアクセスすれば情報はいくらでも取れます、活用したら良い）
 - C 質問は執行部・最高責任者の所信を。但し自分の思っている効果を導きだして欲しいものである。質問者の最終目的は良い結論を得ることにあります。国・県・市町村の情報をフルに活用が望ましい）
 - D 質問には政策提案型・課題追求型・自己主張型が有ります。講師は課題追求型が良いとの事ですが、私としては政策提案もおりませた質問が良いと思います。
 - E 講義現場で先生から研修生に質問の際執行部との打ち合わせ状況について質問があったが各市町村それぞれ異なっていた。例えば
 - 全く打ち合わせはしない。
 - 質問・答弁を打ち合わせている。
 - 質問者の質問事項は聞きに来るが答弁の説明はない（土佐清水も同一）大きく分けると以上の様であったが、講師の質問は出来るだけ具体的に記載し執行部に出した方が良い、講師はその様にして来たとの談あり）
 - F 質問要領としては質問は内容が市町村行政に全く関係ないものは許されない、大所高所からの政策を建設的立場で展開したい。要望・お願い・お礼は厳に慎むべきである。
- ② 「政策提案質問の事例」
- A 事例紹介として田中角栄元総理（日本列島改造論）の佐渡島と国道350号線から元総理は経験・統計を信じながら役人と交渉していた様であるが、統計を基に何が出来るかであるとの事であった。
 - B 役人を動かした田中語録によると、大事なものは数字と事実である、嘘か本当かは調べればすぐ分かる。根拠が乏しければ化けの皮ははがれる。議員は事実確認を行い自信を持って政策提案にあたれ。
 - C 特に目を引いたのが寝屋川市の高齢者・障害者の個別ごみ収集事業であった。背景に高齢者等がごみステーションへの排出が困難な状況があり、議員が一般質問にて提案、効果として「寝屋川市ふれあい訪問収集」として実現した。本市も超高齢化になる将来においては何らかの方策が必要になってくると思われる。

6 本研修会に参加して思った事

講師は寝屋川市議会議員として20年の経験と、
ボストン、ウエントワース工科大学卒業後、
神戸大学経営学院（経営学修士）
大阪大学大学院医学研究科で医学博士号を取得しており、
幅広い知識で分かり易く講義をしてくれた。執行部との在り方・議員と
の在り方、そして参加者3人の融和協調が図られた有意義な研修であっ
った。

実際に3月議会で後見人について質問をしたが、今回の研修を踏まえ
早速内閣府・最高裁・厚労省等の情報をホームページ等で確認し、活用
した。

以上